

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月12日
【四半期会計期間】	第69期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	北野建設株式会社
【英訳名】	KITANO CONSTRUCTION CORP.
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長兼社長 北野 貴裕
【本店の所在の場所】	長野県長野市県町524番地
【電話番号】	026(233)5111(代表)
【事務連絡者氏名】	管理本部経理部長 塚田 美一
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区銀座1丁目9番2号
【電話番号】	03(3562)2331(代表)
【事務連絡者氏名】	管理本部経理部長 塚田 美一
【縦覧に供する場所】	北野建設株式会社 東京本社 (東京都中央区銀座1丁目9番2号) 北野建設株式会社 大阪支店 (大阪市北区堂島1丁目2番5号 堂北ダイビル) 株式会社 東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第68期 第1四半期連結 累計期間	第69期 第1四半期連結 累計期間	第68期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	12,541,415	14,102,238	61,758,631
経常利益又は経常損失( )(千円)	25,529	132,931	1,325,818
四半期(当期)純利益又は四半期純損失( )(千円)	35,305	34,867	575,601
四半期包括利益又は包括利益(千円)	166,081	174,540	1,035,590
純資産額(千円)	20,839,728	21,069,868	21,395,516
総資産額(千円)	49,479,069	54,466,345	53,704,050
1株当たり四半期(当期)純利益金額又は四半期純損失金額( )(円)	0.53	0.56	9.00
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	41.1	37.9	39.1

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2 売上高には、消費税等は含まれていません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

## 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

## 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出関連を中心に緩やかな回復局面にあります。依然として世界経済を巡る動きは不確実性が大きいものの、国内需要では、各種経済対策により公共投資が増加傾向を辿っており、住宅投資も増加が予想されています。更に個人消費も底堅く推移しており、民間の設備投資も企業収益の改善に伴って増加基調に転じることが期待されています。

当社グループが主に事業を展開しております建設業界におきましては、前述の通り、公共投資が引き続き増加傾向を辿っており、民間においても収益改善による企業の設備投資の増加や底堅い個人消費に支えられ、受注環境に改善が見受けられる一方、原価面では、労務者不足による労務費高騰、円安局面における原材料の高騰等の先行き不透明な懸念材料もあり、予断を許さぬ状況が引き続いています。

かかる状況下におきまして、当社グループの当第1四半期連結累計期間における連結売上高は141億2百万円（前年同四半期比12.4%増）となりました。損益面につきましては、営業利益が2千1百万円（前年同四半期は営業損失8千2百万円）、経常利益が1億3千3百万円（前年同四半期は経常損失2千6百万円）、四半期純利益が3千5百万円（前年同四半期は四半期純損失3千5百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

建設事業	当第1四半期連結累計期間における建設事業の業績につきましては、受注高199億8千8百万円、売上高135億5千1百万円、セグメント損失2千2百万円となりました。
ゴルフ場事業	ゴルフ場事業の業績につきましては、売上高8千2百万円、セグメント利益1千6百万円となりました。
ホテル事業	ホテル事業の業績につきましては、売上高1億4千2百万円、セグメント利益1千6百万円となりました。
広告代理店事業	広告代理店事業の業績につきましては、売上高3億4千4百万円、セグメント利益1千1百万円となりました。

### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

### (3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、24百万円です。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	200,000,000
計	200,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	68,368,532	68,368,532	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 1,000株
計	68,368,532	68,368,532	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	68,368,532	-	9,116,492	-	-

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしています。

【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 (自己保有株式) 5,977,000 普通株式 (相互保有株式) 255,000	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)(注)	普通株式 61,141,000	61,139	同上
単元未満株式	普通株式 995,532	-	-
発行済株式総数	68,368,532	-	-
総株主の議決権	-	61,139	-

(注) 完全議決権株式(その他)の中には、株主名簿上は当社名義になっていますが、実質的に所有していない株式2,000株が含まれています。これらによる議決権2個は議決権の個数の計算から除いています。

【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 北野建設株式会社	長野市県町 524番地	5,977,000	-	5,977,000	8.74
(相互保有株式) 株式会社アサヒ エージェンシー	長野市問御所 1306番地1	255,000	-	255,000	0.37
計	-	6,232,000	-	6,232,000	9.11

(注) 1 この他に株主名簿上は当社名義になっていますが、実質的に所有していない株数が2,000株(議決権2個)あります。なお、当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」に含まれていますが議決権の個数の計算から除いています。

2 平成25年6月30日現在の当社の所有株式数は5,980,000株(議決権の数5,980個)です。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に準拠して作成し、「建設業法施行規則」（昭和24年建設省令第14号）に準じて記載しています。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人A&Aパートナーズによる四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,624,890	8,687,944
受取手形・完成工事未収入金等	13,618,592	13,120,579
販売用不動産	6,125,653	6,113,541
未成工事支出金	1,746,426	1,768,570
開発事業等支出金	3,191,866	3,213,480
その他のたな卸資産	54,869	53,978
繰延税金資産	1,277,605	1,256,004
その他	697,114	1,025,168
貸倒引当金	77,529	75,566
流動資産合計	33,259,486	35,163,698
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,304,787	6,786,787
その他	10,983,530	10,192,258
減価償却累計額	5,952,572	5,946,729
有形固定資産合計	12,335,745	11,032,316
無形固定資産	53,973	55,111
投資その他の資産		
投資有価証券	4,799,060	4,946,954
長期貸付金	2,532,768	2,758,737
繰延税金資産	455,886	438,700
その他	1,317,766	1,320,234
貸倒引当金	1,050,634	1,249,405
投資その他の資産合計	8,054,846	8,215,220
固定資産合計	20,444,564	19,302,647
資産合計	53,704,050	54,466,345



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	19,598,393	17,256,744
未払法人税等	483,040	30,065
未成工事受入金	3,018,902	5,827,102
引当金	572,659	631,849
その他	941,816	2,029,732
流動負債合計	24,614,810	25,775,492
固定負債		
長期借入金	4,000,000	4,000,000
退職給付引当金	501,155	475,939
会員預託金	2,897,300	2,855,750
繰延税金負債	67,966	121,052
その他	227,303	168,244
固定負債合計	7,693,724	7,620,985
負債合計	32,308,534	33,396,477
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,116,492	9,116,492
資本剰余金	5,066,238	5,066,238
利益剰余金	7,255,036	6,792,812
自己株式	1,263,693	1,264,411
株主資本合計	20,174,073	19,711,131
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	783,844	878,862
繰延ヘッジ損益	7,890	7,669
為替換算調整勘定	5,749	53,449
その他の包括利益累計額合計	797,483	924,642
少数株主持分	423,960	434,095
純資産合計	21,395,516	21,069,868
負債純資産合計	53,704,050	54,466,345

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
<b>売上高</b>		
完成工事高	11,859,760	13,016,307
兼業事業売上高	681,655	1,085,931
売上高合計	12,541,415	14,102,238
<b>売上原価</b>		
完成工事原価	11,312,570	12,441,614
兼業事業売上原価	403,418	748,489
売上原価合計	11,715,988	13,190,103
<b>売上総利益</b>		
完成工事総利益	547,190	574,693
兼業事業総利益	278,237	337,442
売上総利益合計	825,427	912,135
<b>販売費及び一般管理費</b>	907,710	891,129
営業利益又は営業損失( )	82,283	21,006
<b>営業外収益</b>		
受取利息	9,292	2,622
受取配当金	37,797	45,267
持分法による投資利益	12,479	9,309
会員権引取差額	13,640	25,562
その他	19,148	55,435
営業外収益合計	92,356	138,195
<b>営業外費用</b>		
支払利息	34,623	25,941
その他	979	329
営業外費用合計	35,602	26,270
経常利益又は経常損失( )	25,529	132,931
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	238	1,978
特別利益合計	238	1,978
<b>特別損失</b>		
投資有価証券評価損	2,660	20
固定資産売却損	-	9,802
特別損失合計	2,660	9,822
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	27,951	125,087
<b>法人税、住民税及び事業税</b>	28,073	28,652
法人税等調整額	30,165	49,216
法人税等合計	2,092	77,868
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	25,859	47,219
<b>少数株主利益</b>	9,446	12,352
四半期純利益又は四半期純損失( )	35,305	34,867

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	25,859	47,219
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	156,593	95,180
繰延ヘッジ損益	8,490	15,559
為替換算調整勘定	11,010	29,112
持分法適用会社に対する持分相当額	13,851	18,588
その他の包括利益合計	140,222	127,321
四半期包括利益	166,081	174,540
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	175,386	162,025
少数株主に係る四半期包括利益	9,305	12,515

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費及び負ののれん償却額は次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
減価償却費	54,025千円	62,192千円
負ののれん償却額	2,476	2,476

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	539,001	8.0	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月21日 定時株主総会	普通株式	499,131	8.0	平成25年3月31日	平成25年6月24日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)1
	建設事業	ゴルフ場事業	ホテル事業	広告代理店 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	12,071,652	90,203	93,433	286,127	12,541,415	-	12,541,415
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	306	1,430	9,988	11,724	11,724	-
計	12,071,652	90,509	94,863	296,115	12,553,139	11,724	12,541,415
セグメント利益 又はセグメント損失( )	102,507	16,540	2,673	6,357	82,283	-	82,283

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書計上の営業損失と一致しています。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)1
	建設事業	ゴルフ場事業	ホテル事業	広告代理店 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	13,550,683	81,975	141,296	328,284	14,102,238	-	14,102,238
セグメント間の内部 売上高又は振替高	55	358	704	15,770	16,887	16,887	-
計	13,550,738	82,333	142,000	344,054	14,119,125	16,887	14,102,238
セグメント利益 又はセグメント損失( )	21,509	15,793	15,908	10,814	21,006	-	21,006

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書計上の営業利益と一致しています。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額( )	0円53銭	0円56銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額( ) (千円)	35,305	34,867
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(千円)	35,305	34,867
普通株式の期中平均株式数(千株)	66,728	62,238

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月7日

北野建設株式会社  
取締役会 御中

### 監査法人 A & A パートナーズ

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 齊藤 浩司

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 村田 征仁

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている北野建設株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、北野建設株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しています。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。